



2025年11月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月9日

上場会社名	株式会社エクスマーション	上場取引所	東
コード番号	4394	URL	https://www.corporate.exmotion.co.jp
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	渡辺 博之
問合せ先責任者	(役職名) 執行役員管理本部長 兼経営企画室長	(氏名)	三上 宏也
定時株主総会開催予定日	2026年2月26日	配当支払開始予定日	2026年2月27日
有価証券報告書提出予定日	2026年2月25日		
決算補足説明資料作成の有無	: 有		
決算説明会開催の有無	: 有 (個人投資家向け)		

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期の連結業績（2024年12月1日～2025年11月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		
百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2025年11月期	1,386	7.9	189	22.1	194	23.0	127	28.5
2024年11月期	1,284	16.2	155	18.1	157	17.2	99	—

(注) 包括利益 2025年11月期 127百万円(-28.5%) 2024年11月期 99百万円(-1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2025年11月期	円 銭 42.24	円 銭 42.15	% 7.8	% 10.7	% 13.7
2024年11月期	円 銭 32.90	円 銭 32.82	% 6.3	% 9.1	% 12.1

(参考) 持分法投資損益 2025年11月期 一千万円 2024年11月期 一千万円

(2) 連結財政狀態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2025年11月期	百万円 1,857	百万円 1,669	% 89.9	円 錢 551.95
2024年11月期	1,765	1,598	90.5	529.98

(参考)自己資本 2025年11月期 1,669百万円 2024年11月期 1,598百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2025年11月期	百万円 252	百万円 △45	百万円 △55	百万円 1,440
2024年11月期	86	△21	△54	1,289

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年11月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
	—	0.00	—	19.00	19.00	57	57.7	3.6
2025年11月期	—	0.00	—	20.00	20.00	60	47.3	3.7
2026年11月期(予想)	—	0.00	—	21.00	21.00		47.7	

3. 2026年11月期の連結業績予想（2025年12月1日～2026年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計) 通期	702 1,451	3.9 4.7	82 204	10.1 7.7	83 206	8.0 6.4	53 133	9.2 4.5
							円 銭	17.66 44.01

※ 注記事項

- (1) 期中ににおける連結範囲の重要な変更 : 無
新規一社(社名)ー、除外一社(社名)ー
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年11月期	3,025,500株	2024年11月期	3,015,700株
② 期末自己株式数	2025年11月期	77株	2024年11月期	77株
③ 期中平均株式数	2025年11月期	3,017,448株	2024年11月期	3,015,623株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年11月期の個別業績(2024年12月1日～2025年11月30日)

- (1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期	1,170	0.9	139	7.5	150	12.7	103	13.9
2024年11月期	1,159	10.7	129	△20.5	133	△20.1	91	115.4
	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年11月期	34.37		34.30					
2024年11月期	30.20		30.12					

- (2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2025年11月期	1,821		1,673		91.9		553.17	
2024年11月期	1,781		1,625		91.3		539.09	

(参考) 自己資本 2025年11月期 1,673百万円 2024年11月期 1,625百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。また、当社は2026年1月27日(火)に個人投資家向け決算説明会をオンライン開催する予定です。この説明会については、当社ホームページのニュースリリースで事前にお知らせし、開催後は当社YouTubeチャンネルに動画を掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、米国の通商政策等による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境の改善や、各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気下振れリスクには引き続き留意する必要があります。

当社グループの事業領域である組込みソフトウェア開発のコンサルティング業界におきましては、製造業をはじめ、多くの産業分野でソフトウェアの重要性が高まり、高付加価値のソフトウェア開発の技術支援が必要とされています。あらゆるものを見定義するSDx時代が到来し、また、生成AIによりソフトウェア開発の手法そのものも転換が迫られています。

このような環境の下、コンサルティング事業は、従来の自動車業界の顧客からの継続案件だけでなく、他の産業分野からの新規顧客案件の獲得が進みました。「Eureka Box（ユーリカボックス）」は、リスクリミング需要の高まりを背景に順調に推移し、生成AIを活用した要件定義支援サービス「CoBrain（コブレイン）」も2024年11月のサービス提供開始以降の受注が好調で、2025年11月に発表した機能追加により、今後のさらなる受注拡大が見込まれます。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高1,386,816千円（前期比7.9%増）、営業利益189,955千円（同22.1%増）、経常利益194,194千円（同23.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益127,466千円（同28.5%増）と増収増益となり、売上高、営業利益および経常利益は過去最高となりました。

なお、当社グループはコンサルティング事業の単一セグメントであり、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,655,295千円となり、前連結会計年度末に比べ83,274千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い現金及び預金が151,441千円増加したことと、コンサルティング契約の短期化による売上債権の回収早期化が寄与し、売掛金が22,469千円、契約資産が45,751千円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は202,503千円となり、前連結会計年度末に比べ8,600千円増加いたしました。これは主に生成AIによる要件定義支援サービス「CoBrain」の開発費を資産計上したことにより、無形固定資産のその他に含まれるソフトウェアが35,537千円増加した一方で、のれん償却に伴いのれんが28,633千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は187,927千円となり、前連結会計年度末に比べ20,235千円増加いたしました。これは主に「CoBrain」の受注により、その他に含まれる前受金が12,794千円、買掛金が6,524千円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,669,871千円となり、前連結会計年度末に比べ71,639千円増加いたしました。これは主に剰余金の配当に伴い利益剰余金が57,296千円減少した一方で、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴い利益剰余金が127,466千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は89.9%（前連結会計年度末90.5%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ151,456千円増加し、当連結会計年度末残高は1,440,766千円となりました。主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は、主に税金等調整前当期純利益が36,339千円増加した一方で、契約の短期化による資金回収早期化により売上債権の増減額129,795千円が減少したことにより、前期に比べ165,959千円増加し、252,316千円の収入(前期は86,357千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果支出した資金は、主に前期に比べ開発投資に伴う無形固定資産の取得による支出が35,226千円増加した一方で、有形固定資産の取得による支出が11,109千円減少したことにより、前期に比べ24,059千円増加し、45,070千円の支出(前期は21,010千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果支出した資金は、主に株式の発行による収入1,470千円が増加したことと、配当金の支払額3,005千円が増加したことにより、前期に比べ1,535千円増加し、55,789千円の支出(前期は54,254千円の支出)となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、コンサルティング事業は、既存の支援領域に加え、生成AIを活用したソフトウェア開発手法への関心の高まりをとらえ、新たなコンサルティング形態の拡大にも取り組んでまいります。また、オンラインによる学習プラットフォーム「Eureka Box(ユーリカボックス)」の収益拡大と、2025年11月に機能追加した生成AIツール「CoBrain(コブレイン)」の受注拡大と収益化に向けて、引き続き推進してまいります。

このような環境の中、翌連結会計年度(2026年11月期)の業績見通しにつきましては、売上高1,451百万円(前期比4.7%増)、営業利益204百万円(同7.7%増)、経常利益206百万円(同6.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益133百万円(同4.5%増)を予想しております。

業績見通しの詳細については、T D n e t、または当社ホームページに掲載しております決算補足説明資料をご参照ください。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当連結会計年度 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 289, 463	1, 440, 905
売掛金	90, 425	67, 956
契約資産	176, 295	130, 544
棚卸資産	429	110
その他	15, 407	15, 779
流動資産合計	1, 572, 021	1, 655, 295
固定資産		
有形固定資産		
建物	16, 919	16, 919
減価償却累計額	△7, 189	△8, 450
建物（純額）	9, 730	8, 469
工具、器具及び備品	50, 318	55, 142
減価償却累計額	△36, 052	△41, 863
工具、器具及び備品（純額）	14, 265	13, 278
有形固定資産合計	23, 995	21, 747
無形固定資産		
のれん	100, 216	71, 583
その他	8, 345	43, 883
無形固定資産合計	108, 561	115, 466
投資その他の資産		
繰延税金資産	36, 790	41, 640
その他	24, 554	23, 648
投資その他の資産合計	61, 344	65, 289
固定資産合計	193, 902	202, 503
資産合計	1, 765, 923	1, 857, 799

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当連結会計年度 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,176	17,700
未払法人税等	55,831	42,878
その他	100,684	127,348
流動負債合計	167,692	187,927
負債合計	167,692	187,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	453,486	454,221
資本剰余金	444,486	445,221
利益剰余金	700,350	770,519
自己株式	△91	△91
株主資本合計	1,598,231	1,669,871
純資産合計	1,598,231	1,669,871
負債純資産合計	1,765,923	1,857,799

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)	当連結会計年度 (自 2024年12月1日 至 2025年11月30日)
売上高	1,284,756	1,386,816
売上原価	765,003	808,840
売上総利益	519,753	577,976
販売費及び一般管理費	364,209	388,020
営業利益	155,544	189,955
営業外収益		
受取利息	116	1,840
助成金収入	2,141	2,059
その他	54	339
営業外収益合計	2,311	4,238
経常利益	157,855	194,194
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前当期純利益	157,855	194,194
法人税、住民税及び事業税	67,680	71,579
法人税等調整額	△9,049	△4,850
法人税等合計	58,630	66,728
当期純利益	99,225	127,466
親会社株主に帰属する当期純利益	99,225	127,466

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2023年12月 1 日 至 2024年11月30日)	当連結会計年度 (自 2024年12月 1 日 至 2025年11月30日)
当期純利益	99,225	127,466
包括利益	99,225	127,466
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	99,225	127,466

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	453,486	444,486	655,406	△91	1,553,287
当期変動額					
剰余金の配当			△54,281		△54,281
親会社株主に帰属する当期純利益			99,225		99,225
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	44,943	—	44,943
当期末残高	453,486	444,486	700,350	△91	1,598,231

	純資産合計
当期首残高	1,553,287
当期変動額	
剰余金の配当	△54,281
親会社株主に帰属する当期純利益	99,225
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—
当期変動額合計	44,943
当期末残高	1,598,231

当連結会計年度(自 2024年12月 1 日 至 2025年11月30日)

(単位 : 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	453,486	444,486	700,350	△91	1,598,231
当期変動額					
新株の発行	735	735			1,470
剰余金の配当			△57,296		△57,296
親会社株主に帰属する当期純利益			127,466		127,466
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	735	735	70,169	—	71,639
当期末残高	454,221	445,221	770,519	△91	1,669,871

	純資産合計
当期首残高	1,598,231
当期変動額	
新株の発行	1,470
剰余金の配当	△57,296
親会社株主に帰属する当期純利益	127,466
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—
当期変動額合計	71,639
当期末残高	1,669,871

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年12月 1 日 至 2024年11月 30 日)	当連結会計年度 (自 2024年12月 1 日 至 2025年11月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	157,855	194,194
減価償却費	17,085	14,412
のれん償却額	28,633	28,633
受取利息	△116	△1,840
助成金収入	△2,141	△2,059
売上債権の増減額（△は増加）	△61,575	68,220
棚卸資産の増減額（△は増加）	△61	318
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,425	6,524
その他	△3,216	23,393
小計	135,039	331,798
利息の受取額	116	1,840
助成金の受取額	2,141	2,059
法人税等の支払額	△26,898	△83,381
信託型ストックオプション関連損失の支払額	△24,040	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	86,357	252,316
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,306	△7,197
無形固定資産の取得による支出	△2,720	△37,946
その他	16	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,010	△45,070
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	1,470
配当金の支払額	△54,254	△57,259
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,254	△55,789
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	11,092	151,456
現金及び現金同等物の期首残高	1,278,218	1,289,310
現金及び現金同等物の期末残高	1,289,310	1,440,766

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

外部顧客への売上高が単一のサービスの区分で連結損益計算書の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社S U B A R U	450,066	コンサルティング事業
ウーブン・バイ・トヨタ株式会社	221,495	コンサルティング事業
トヨタ自動車株式会社	168,934	コンサルティング事業

当連結会計年度(自 2024年12月1日 至 2025年11月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

外部顧客への売上高が単一のサービスの区分で連結損益計算書の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社S U B A R U	530,347	コンサルティング事業
トヨタ自動車株式会社	237,390	コンサルティング事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年12月1日 至 2025年11月30日)

単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年12月 1 日 至 2024年11月30日)	当連結会計年度 (自 2024年12月 1 日 至 2025年11月30日)
1 株当たり純資産額	529.98円	551.95円
1 株当たり当期純利益	32.90円	42.24円
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	32.82円	42.15円

(注) 1 株当たり当期純利益及び潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年12月 1 日 至 2024年11月30日)	当連結会計年度 (自 2024年12月 1 日 至 2025年11月30日)
1 株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	99,225	127,466
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	99,225	127,466
普通株式の期中平均株式数(株)	3,015,623	3,017,448
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	7,986	6,551
(うち新株予約権(株))	(7,986)	(6,551)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。